



ケナフなどの自然素材から 和紙をつくり生活に活かす

- 活動時期 → 通年
- 活動場所 → 香美市土佐山田町
香美市・四万十市・土佐市・
高知市・野市町などでも実施
- 主な活動メンバー
大学教授、友人、製紙工場の人達など

(取り組み内容)

◆土佐和紙技術を用いた和紙の製造・普及

- ・土佐和紙の技術を応用し、成長の早いケナフ、竹、未利用資源（杉皮、桧皮、竹の葉、オクラの幹、回収割りばし、ワラなど）を使い、住宅用和紙クロスの製造・販売を推進。
- ・ケナフや古紙、竹、割り箸などのパルプ化やハガキ化
- ・和紙でつくる卒業証書の紙漉き指導
- ・ケナフの栽培（自宅 1500m²）

◆住宅用和紙クロスの魅力

- ・通常の塩ビクロスと同等の価格で販売可能
- ・土佐の木材・漆喰・和紙の3点セットでPRを展開
- ・木板の上に和紙クロスを貼ることで、より高級感を得られる。
- ・土佐和紙は保湿効果の性質を持っている。
- ・紙の繊維が光を乱反射するため、日光や照明の明かりがとて柔らかくなる。同様に音も分散乱反射して柔らかくなる。
- ・環境に優しいシックハウス対策
-国土交通省認定品-（F☆☆☆☆）

◆取り組みの成果

- ・昨年あたり、約800～1000棟の新築やリフォームの壁紙に使用され、一時期は生産が追いつかない程に。
- ・和紙クロスは月に約4万m²くらい出荷（住宅用）
- ・多くのモデル住宅が壁紙に和紙を使用してくれている
- ・地域の小学校で和紙の卒業証書を紙漉きから指導。
- ・和紙クロスは約150g/m²の厚紙のため、ハガキや名刺としても利用されている。



(ケナフ栽培（自宅 1500m²）)



土佐和紙クロス



割り箸入り和紙



和紙クロスの設置

((うれしかったお話))

- ・自分の想いが伝わり、実際に使って頂いた人が喜んでくれたりすること！
- ・PR 後に知らない工務店から注文を受け、評価やアドバイスなどをいただいた時うれしい！

◆手作り「ケナフ和紙」の制作手順

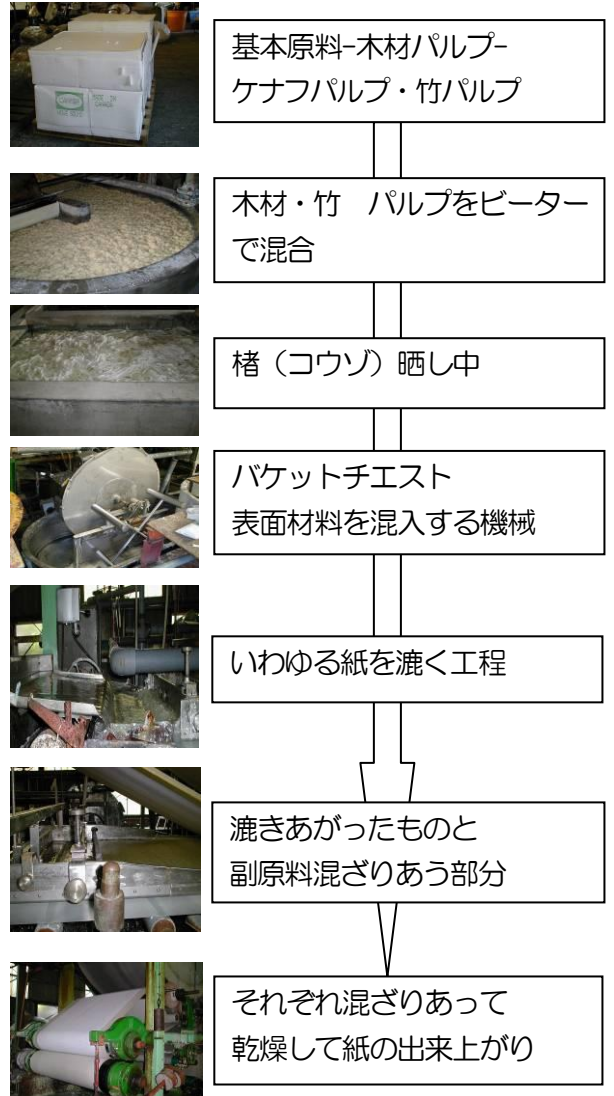
ケナフは自分で種を蒔いて簡単に育てることができ、成長が速いため短期間で和紙づくりに利用できる。

- ①成長したケナフを刈り取り、その皮を 1cm に切ってミキサーに入れ、約 5 分分散。
- ②ケナフの皮と同じか 2 倍ぐらいの古紙をちぎり、ミキサーで約 1 分分散。
- ③ ①と②を濃度が 1% 程度になるよう漉き槽に入れる。
- ④漉桁（すきけた/紙を漉く道具）は漉き槽の下まで入れて一気に持ち上げ、ゆすって水を切る（水が少なくなるとゆすりをやめる）
- ⑤定規の有る板に置く
- ⑥その上に不織布（水切りのゴミ袋）や布を敷く
- ⑦次々、同じ工程を 20 から 30 枚重ねます
- ⑧漉き重ねた紙は上下に板を置き、自動車のジャッキで約 2 分プレスする。
- ⑨アイロンを使って乾燥させる
- ⑩完成！

◆取り組みに対する想い

- ・石油製品である塩ビクロスは年間約 2000 億円使用している現状がある。温暖化防止のためには、こういった現状を理解して解決していく必要があると感じている。
- ・人間は環境によって変わる。
- ・自然の力はすごい。花の成長だけでも元気になれる。

【機械でつくる和紙制作の手順】



◆取り組みを進めるためのポイント

- ・人との出会いを大切に。人との出会いで色々な発想生まれる。
- ・人と出会うためには自分自身が人に好かれるよう努力する必要がある。
- ・あきらめないことと、連携することが大切（あきらめず 10 年以上も活動を続けてきた）
- ・夢を持つと人も地球も元気になる

◆県民の皆さんに一言

現在の環境の深刻さを知り、少しでも環境対策に取り組んでほしい！



(平成 21 年 10 月現在)